

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	キャリアデザイン	総時間	前期	2×18	
									後期		
指導目標	<p>個々が持つ職業観、労働観をより具体的にし、国際人として活躍できる様に、キャリアデザインを学ぶ。 また、具体的にキャリアを描くまでの具体的な行動まで落とし込み、将来設計ができる様行動計画を具体的に考える</p>										
評価方法	<p>定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日				
1		イントロダクション、ビジネスってなに？									
2		自分たちのキャリアを描こう～ゴールイメージの共有GPDCAを描く①									
3		自分たちのキャリアを描こう～ゴールイメージの共有GPDCAを描く②									
4		自分たちのキャリアを実現するために～具体的な行動計画を立てる①									
5		自分たちのキャリアを実現するために～具体的な行動計画を立てる②									
6		自分たちのキャリアを実現するために～具体的な行動計画を立てる③									
7		キャリアを実現するための情報収集の方法を学ぶ～キュレーションの仕方①									
8		キャリアを実現するための情報収集の方法を学ぶ～キュレーションの仕方②									
9		キャリアのなかでの優先順位を決めておく～重要度、優先度の付け方①									
10		キャリアのなかでの優先順位を決めておく～重要度、優先度の付け方②									
11		自分のキャリアを周囲の人に伝える～コミュニケーション、プレゼンテーション①									
12		自分のキャリアを周囲の人に伝える～コミュニケーション、プレゼンテーション②									
13		自分のキャリアを周囲の人に伝える～コミュニケーション、プレゼンテーション③									
14		自分のふるさと、家族にどのように貢献したいかからキャリアを考える①									
15		自分のふるさと、家族にどのように貢献したいかからキャリアを考える②									
16		自分のふるさと、家族にどのように貢献したいかからキャリアを考える③									
17		総合演習～自分たちのキャリア、行動計画を完成させる									
18		発表～みんなで応援しあいながら次の行動に落とし込んでいく									
備考	<p>使用教科書：レジメ使用</p>										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	ビジネスマナー I	総時間	前期	2×18	
									後期		
指導目標	<p>留学生が日本で働く際に意思疎通を図るコミュニケーション力、チームワーク力を身に付けることが求められる。円滑に業務を進めるための「相手を尊重する気持ち」「相手を思いやる気持ち」を形にしたマナーを身につけることは留学生にとって日本社会でよい人間関係を築く助けとなる。本授業では国籍、年齢、立場、役割、価値観、利害などが異なる職場で好ましい人間関係を築けるよう育成をする。</p>										
評価方法	<p>定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日	後期			
1		ビジネスマナー（仕事に向かう姿勢・顧客満足）				1					
2		身だしなみ・言葉遣い				2					
3		挨拶の仕方・クッション言葉				3					
4		ミニレクチャー（敬語・お辞儀の仕方）				4					
5		ミニケーススタディ（身だしなみ、理解度チェック）				5					
6		目標の立て方と仕事の進め方（スケジューリング）				6					
7		入社時・離席時・外出時・退社時のマナー				7					
8		休暇・残業・休日出勤のマナー、就業態度				8					
9		人間関係（勤務時間外のつきあい方）				9					
10		報告・連絡・相談・指示・命令				10					
11		報告・連絡・相談の仕方				11					
12		会議（参加・議事録・発言）				12					
13		ミニケーススタディ（報告・連絡・相談・優先順位・理解度チェック）				13					
14		電話の基本マナー（受け方・かけ方）				14					
15		電話のマナー（伝言・対応・携帯マナー）				15					
16		メールの基本マナー				16					
17		ミニケーススタディ（電話編）				17					
18		定期試験：理解度チェック									
備考	<p>使用教科書：ビジネスマナー基本テキスト【キャリア総研】</p>										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	ビジネスマナーⅡ	総時間	前期		
									後期	2×17	
指導目標	<p>留学生が日本で働く際に意思疎通を図るコミュニケーション力、チームワーク力を身に付けることが求められる。円滑に業務を進めるための「相手を尊重する気持ち」「相手を思いやる気持ち」を形にしたマナーを身につけることは留学生にとって日本社会でよい人間関係を築く助けとなる。本授業では国籍、年齢、立場、役割、価値観、利害などが異なる職場で好ましい人間関係を築けるよう育成をする。</p>										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日	後期			
1						1		応対のマナー（受付・案内・席次・見送り）			
2						2		訪問（面会予約・事前準備・受付取次ぎ依頼）			
3						3		面会時のマナー（初回面会・名刺交換）			
4						4		面談（進め方・対応・帰社後の処理）			
5						5		ミニレクチャー（お茶の出し方・名刺交換）			
6						6		ミニケーススタディ（お客様への対応）			
7						7		ビジネス文書の基本			
8						8		社内文書・社外文書・社交文書の基本			
9						9		送信時のマナー・SNS利用時の注意点			
10						10		ミニレクチャー（頭語・結語・時候の挨拶・社外文書・慣用表現）			
11						11		ミニレクチャー（封筒の書き方・FAX・郵送・メールの送受信）			
12						12		慶事マナー（慶事の種類と服装・祝儀）			
13						13		弔事マナー（訃報への対応・お供え・葬儀）			
14						14		贈答の異本マナー・会食の際の心得			
15						15		ミニレクチャー（和洋中料理・立食パーティーの基本マナー）			
16						16		ミニレクチャー（日本と外国の観念の違い）			
17						17		定期試験：理解度チェック			
18											
備考	使用教科書：ビジネスマナー基本テキスト【キャリア総研】										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	2	区分	講義	科目	ビジネス実務	総時間	前期	2×18	
									後期		
指導目標	<p>学生自らの日本での職業観や勤労観といった概念の形成を前提に、ビジネス常識および、基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するための知識を身につける。後期はビジネス能力検定3級の取得を目指し、留学生が日本語以外の資格の取得することで就職に役立たせる。</p>										
評価方法	<p>定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日	後期			
1		キャリアと仕事へのアプローチ				1					
2		仕事の基本となる8つの意識(1)				2					
3		仕事の基本となる8つの意識(2)				3					
4		コミュニケーションとビジネスマナーの基本(1)				4					
5		コミュニケーションとビジネスマナーの基本(2)				5					
6		報告・連絡・相談(実践)				6					
7		ビジネス現場での話し方				7					
8		敬語				8					
9		来客応対				9					
10		訪問時のマナー				10					
11		仕事の実践とビジネスツール(1)				11					
12		仕事の実践とビジネスツール(2)				12					
13		ビジネス文書の基本				13					
14		電話応対				14					
15		統計・データの読み方・まとめ方				15					
16		情報収集とメディアの活用				16					
17		会社を取り巻く環境と経済の基本				17					
18		定期試験：確認問題									
備考	<p>使用教科書：ビジネス能力検定ジョブパス3級 公式テキスト</p>										

学 科	ブリッジシステムエンジニア科	学 年	1	区 分	講 義	科 目	就職活動計画	総 時 間	前 期		
									後 期	2×17	
指 導 目 標	留学生が日本の就職活動を理解し、就職活動に必要となる準備や対策を行い、日本と海外の就職活動の違いを理解した上で「自己分析」「業界・企業研究」ができるよう指導し、個々が目標が達成できるようにする。										
評 価 方 法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日					回数	月日	後期			
						1		日本で就職すること①			
						2		日本で就職すること②			
						3		キャリアを考える			
						4		自分がどういう人かを考える			
						5		自分がどうしたいかを考える			
						6		業界を知る①			
						7		業界を知る②			
						8		企業と出会う①			
						9		企業と出会う②			
						10		企業を知る・選ぶ			
						11		履歴書とエントリーシート			
						12		エントリーシート対策			
						13		筆記試験対策①			
						14		筆記試験対策②			
						15		面接対策②			
						16		面接対策①			
						17		内定・入社後と日本のビジネス習慣について			
備 考	使用教科書：留学生のための就職内定ワークブック										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	TOEIC対策 I	総時間	前期	2×18	
									後期		
指導目標	<p>TOEIC形式の問題に慣れることで実際の試験に備えられる（ただし700点以上の高得点をを目指す学生には不適）。</p> <p>TOEICや時事英語演習により、実用的、商業的な英語表現や単語・熟語が身につく。</p> <p>商業英語、時事英語の表現法や内容分析を通して社会的、文化的背景が考察できる。</p> <p>英語の音の規則や発音の仕方を知り、実際の聞き取りに役立つようになる。</p>										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期					回数	月日	後期		
1		Introduction					1				
2		選抜試験(受講者制限)					2				
3		Unit 1: Shopping(1)					3				
4		Unit 1: Shopping(2)					4				
5		Unit 2: Transportation(1)					5				
6		Unit 2: Transportation(2)					6				
7		Review Test					7				
8		Unit 3: Travel(1)					8				
9		Unit 3: Travel(2)					9				
10		Unit 4: Restaurants(1)					10				
11		Unit 4: Restaurants(2)					11				
12		Review Test					12				
13		Unit 5: Health(1)					13				
14		Unit 5: Health(2)					14				
15		Unit 6: In the Office(1)					15				
16		Unit 6: In the Office(2)					16				
17		Review Test					17				
18		Exam									
備考	<p>使用教科書：TOEIC® L&R TEST へのファーストステップ 一改訂新版— START-UP COURSE FOR THE TOEIC® L&R TEST -Revised Edition-</p>										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	TOEIC対策Ⅱ	総時間	前期		
									後期	2×17	
指導目標	<p>TOEIC形式の問題に慣れることで実際の試験に備えられる（ただし700点以上の高得点をを目指す学生には不適）。</p> <p>TOEICや時事英語演習により、実用的、商業的な英語表現や単語・熟語が身につく。</p> <p>商業英語、時事英語の表現法や内容分析を通して社会的、文化的背景が考察できる。</p> <p>英語の音の規則や発音の仕方を知り、実際の聞き取りに役立つようになる。</p>										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日	後期			
1						1		Introduction			
2						2		Unit 7 : Buisiness and Sales(1)			
3						3		Unit 7 : Buisiness and Sales(2)			
4						4		Unit 8 : Media(1)			
5						5		Unit 8 : Media(2)			
6						6		Review Test			
7						7		Unit 9 : Economy(1)			
8						8		Unit 9 : Economy(2)			
9						9		Unit 10 : Advertisements(1)			
10						10		Unit 10 : Advertisements(2)			
11						11		Review Test			
12						12		Unit 11 : International Trade(1)			
13						13		Unit 11 : International Trade(2)			
14						14		Unit 12 : Environment(1)			
15						15		Unit 12 : Environment(2)			
16						16		Review Test			
17						17		Exam			
18											
備考	<p>使用教科書 : TOEIC® L&R TEST へのファーストステップ —改訂新版—</p> <p>START-UP COURSE FOR THE TOEIC® L&R TEST -Revised Edition-</p>										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	2	区分	講義	科目	TOEIC対策Ⅲ	総時間	前期	2×18	
									後期		
指導目標	語彙力・文法力・リスニング力を総合的に向上させ、TOEIC TESTのスコアアップを図る。また、TOEICパートの出題傾向やトピックを把握し、問題に取り組むためのテクニックを身につけ、問題を解く即時性・正確さを高める。										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日				
1		Unit1 ビジネス（社内編）									
2		Unit2 ビジネス（人事編）									
3		Unit3 ビジネス（プロフェッショナル編）									
4		Unit4 交通									
5		まとめの演習									
6		Unit5 日常生活									
7		Unit6 ショッピング									
8		Unit7 サービス									
9		Unit8 情報・芸術									
10		まとめの演習									
11		実践テスト①									
12		実践テスト①解説									
13		実践テスト②									
14		実践テスト②解説									
15		実践テスト③									
16		実践テスト③解説									
17		まとめの演習									
18		定期試験									
備考	使用教科書：ESSENTIAL APPROACH FOR THE TOEIC® L&R TEST -Revised Edition- TOEIC® L&R TESTへのニューアプローチ 一改訂版一										

学 科	ブリッジシステムエンジニア科	学 年	1	区 分	講 義	科 目	英会話 I	総 時 間	前期	2×18	
									後期		
指 導 目 標	<p>英語で人前で自信を持って話すことができ、興味のあるテーマについて流暢に話すことができる。 プレゼンテーションのスキルを向上させる。 研究を行い、必要な情報を集めることができる。 情報を整理し、まとまりのあるスピーチを行うことができる。</p>										
評 価 方 法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期					回数	月日	後期		
1		Introduction					1				
2		A good speech 1					2				
3		A good speech 2					3				
4		A good speech 3					4				
5		A good speech 4					5				
6		A good speech 5					6				
7		Opinion speech1					7				
8		Opinion speech2					8				
9		Opinion speech3					9				
10		Opinion speech4					10				
11		Opinion speech5					11				
12		Judging a speech1					12				
13		Judging a speech2					13				
14		Judging a speech3					14				
15		Judging a speech4					15				
16		Judging a speech5					16				
17		Judging a speech6					17				
18		Judging a speech7									
備 考	使用教科書：なし										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	英会話Ⅱ	総時間	前期		
									後期	2×17	
指導目標	<p>英語で人前で自信を持って話すことができ、興味のあるテーマについて流暢に話すことができる。 プレゼンテーションのスキルを向上させる。 研究を行い、必要な情報を集めることができる。 情報を整理し、まとまりのあるスピーチを行うことができる。</p>										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日	後期			
1						1		Research topic1			
2						2		Research topic2			
3						3		Research topic3			
4						4		Research topic4			
5						5		Research topic5			
6						6		Research topic6			
7						7		Research topic7			
8						8		Research topic8			
9						9		Presentation Preparation 1			
10						10		Presentation Preparation 2			
11						11		Presentation Preparation 3			
12						12		Presentation Preparation 4			
13						13		Presentation Preparation 5			
14						14		Presentation Preparation 6			
15						15		Presentations			
16						16		Presentations			
17						17		Review			
18											
備考	使用教科書：なし										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	ビジネス日本語 (BJT) I	総時間	前期	2×18	
									後期		
指導目標	日本のビジネス現場の中で実際に行われているさまざまなコミュニケーションを理解し、自らも適切に表現し、周りの人と十分に意思疎通することができる能力を身に付けると共に、就職の際の評価となるBJTのスコアをしっかりとる。										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日	後期			
1		chapter I-①				1					
2		chapter I-②				2					
3		chapter I-③				3					
4		chapter I-④				4					
5		chapter I-⑤				5					
6		chapter II-①				6					
7		chapter II-②				7					
8		chapter II-③				8					
9		chapter II-④				9					
10		chapter II-⑤				10					
11		chapter II-⑥				11					
12		chapter III-①				12					
13		chapter III-②				13					
14		chapter III-③				14					
15		chapter III-④				15					
16		chapter III-⑤				16					
17		chapter III-⑥				17					
18		chapter III-⑦									
備考	使用教科書： につぼんのカイシャ / ビジネス日本語オール・イン・ワン問題集 / ロールプレイで学ぶビジネス日本語 / ビジネス日本語能力テスト										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	ビジネス日本語 (BJT) II	総時間	前期	2×17	
									後期		
指導目標	日本のビジネス現場の中で実際に行われているさまざまなコミュニケーションを理解し、自らも適切に表現し、周りの人と十分に意思疎通することができる能力を身に付けると共に、就職の際の評価となるBJTのスコアをしっかりとる。										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日	後期			
1						1		社内一斉メール			
2						2		会議準備			
3						3		電話とお詫び			
4						4		お知らせ文書			
5						5		キャッチコピー			
6						6		同僚と雑談			
7						7		値下げ交渉			
8						8		営業			
9						9		売り上げ			
10						10		個人情報			
11						11		顧客満足度調査			
12						12		出張			
13						13		販売員増員の提案			
14						14		パッケージ案			
15						15		インタビュー			
16						16		日程調整			
17						17		業務フローチャート			
18											
備考	使用教科書：にっぽんのカイシャ / ビジネス日本語オール・イン・ワン問題集 / ロールプレイで学ぶビジネス日本語 / ビジネス日本語能力テスト										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	2	区分	講義	科目	ビジネス日本語 (BJT) III	総時間	前期	2×18	
									後期		
指導目標	日本のビジネス現場の中で実際に行われているさまざまなコミュニケーションを理解し、自らも適切に表現し、周りの人と十分に意思疎通することができる能力を身に付けると共に、就職の際の評価となるBJTのスコアをしっかりととる。										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日				
1		実践演習 1									
2		実践演習 2									
3		実践演習 3									
4		実践演習 4									
5		実践演習 5									
6		聴解セクション 1									
7		聴解セクション 2									
8		聴解セクション 3									
9		聴読解セクション 1									
10		聴読解セクション 2									
11		読解セクション 1									
12		読解セクション 2									
13		読解セクション 3									
14		ロールプレイ 1									
15		ロールプレイ 2									
16		ロールプレイ 3									
17		ロールプレイ 4									
18		定期試験									
備考	使用教科書：にっぽんのカイシャ / ビジネス日本語オール・イン・ワン問題集 / ロールプレイで学ぶビジネス日本語 / ビジネス日本語能力テスト										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	日本語コミュニケーションⅠ	総時間	前期	4×18	
									後期		
指導目標	<p>日本での社会生活・職場で必要となる日本語コミュニケーション能力とは何かを理解し、それが実際のビジネスの場で使えるようになることを目指す。具体的には、</p> <p>①仕事の指示を聞いて、適切な報告・連絡・相談ができるようになること</p> <p>②ある程度短い時間で書類や文書をまとめられるようになること</p> <p>③職場での資料や一定程度の文章が読めるようになること</p> <p>④わかりやすいプレゼンテーションができるようになることを目標とする。</p>										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日	後期			
1		文書における助詞の使い方				1					
2		語彙の使い分け				2					
3		コロケーションの使い分け				3					
4		文末表現の調整				4					
5		文書における表記のバランス				5					
6		誤変換を見つけよう				6					
7		カタカナ表記				7					
8		文書における読点の打ち方				8					
9		書き言葉らしさについて学ぼう				9					
10		ネットでの日本語ツールを活用しよう				10					
11		専門用語について調べよう①				11					
12		専門用語について調べよう②				12					
13		専門用語について説明しよう①				13					
14		専門用語について説明しよう②				14					
15		まとめ①				15					
16		まとめ②				16					
17		まとめ③				17					
18		定期試験									
備考	使用教科書：オリジナル教材・プリント教材を使用する。										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	日本語コミュニケーションⅡ	総時間	前期	2×17	
									後期		
指導目標	<p>日本での社会生活・職場で必要となる日本語コミュニケーション能力とは何かを理解し、それが実際のビジネスの場で使えるようになることを目指す。具体的には、</p> <p>①仕事の指示を聞いて、適切な報告・連絡・相談ができるようになること</p> <p>②ある程度短い時間で書類や文書をまとめられるようになること</p> <p>③職場での資料や一定程度の文章が読めるようになること</p> <p>④わかりやすいプレゼンテーションができるようになることを目標とする。</p>										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日	後期			
1						1		TPOに合う自己紹介をしよう①			
2						2		TPOに合う自己紹介をしよう①			
3						3		ビジネス文書について知ろう			
4						4		ビジネス文書を読もう			
5						5		ビジネス文書を書こう			
6						6		仕事・職業について調べよう①			
7						7		仕事・職業について調べよう②			
8						8		仕事・職業について発表しよう①			
9						9		仕事・職業について発表しよう②			
10						10		日本語でのwebエントリーについて知ろう①			
11						11		日本語でのwebエントリーについて知ろう②			
12						12		就職活動について質問しよう①			
13						13		就職活動について質問しよう②			
14						14		まとめ①			
15						15		まとめ②			
16						16		まとめ③			
17						17		定期試験			
18											
備考	使用教科書：オリジナル教材・プリント教材を使用する。										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	2	区分	講義	科目	日本語コミュニケーションⅢ	総時間	前期	2×18	
									後期		
指導目標	<p>日本での社会生活・職場で必要となる日本語コミュニケーション能力とは何かを理解し、それが実際のビジネスの場で使えるようになることを目指す。具体的には、</p> <p>①仕事の指示を聞いて、適切な報告・連絡・相談ができるようになること</p> <p>②ある程度短い時間で書類や文書をまとめられるようになること</p> <p>③職場での資料や一定程度の文章が読めるようになること</p> <p>④わかりやすいプレゼンテーションができるようになることを目標とする。</p>										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日	後期			
1		スタートアップ①復習				1					
2		スタートアップ②復習				2					
3		報告書について知ろう				3					
4		報告書を読もう				4					
5		報告書を書こう				5					
6		口頭で報告する①				6					
7		口頭で報告する②				7					
8		聞いた報告をまとめる①				8					
9		聞いた報告をまとめる②				9					
10		仕事相手に連絡しよう①				10					
11		仕事相手に連絡しよう②				11					
12		仕事相手に連絡しよう③				12					
13		ケーススタディ①				13					
14		ケーススタディ②				14					
15		まとめ①				15					
16		まとめ②				16					
17		まとめ③				17					
18		定期試験									
備考	使用教科書：オリジナル教材・プリント教材を使用する。										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	建築概論 I	総時間	前期	2×18	
									後期		
指導目標	建築に関する不可欠な知識を全般的に身に付ける。										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期					回数	月日	後期		
1		建築構造					1				
2		〃					2				
3		〃					3				
4		〃					4				
5		〃					5				
6		〃					6				
7		〃					7				
8		建築計画					8				
9		〃					9				
10		〃					10				
11		〃					11				
12		建築法規					12				
13		〃					13				
14		〃					14				
15		〃					15				
16		建築設備					16				
17		〃					17				
18		〃									
備考	使用教科書：プリント教材（中央工学校OSAKA）										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	建築概論Ⅱ	総時間	前期		
									後期	2×17	
指導目標	建築に関する不可欠な知識を全般的に身に付ける。										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日	後期			
1						1		環境工学			
2						2		"			
3						3		"			
4						4		建築施工			
5						5		"			
6						6		"			
7						7		"			
8						8		"			
9						9		"			
10						10		建築材料			
11						11		"			
12						12		"			
13						13		"			
14						14		構造力学			
15						15		"			
16						16		"			
17						17		"			
18											
備考	使用教科書：プリント教材（中央工学校OSAKA）										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	プログラミング概論 I	総時間	前期	2×18	
									後期		
指導目標	これからプログラミングを学ぼうとする人を対象に、基本を概論中心にすすめていきます。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日	後期			
1		scratch 講義①				1					
2		scratch 講義②				2					
3		scratch 講義③				3					
4		scratch 講義④				4					
5		scratch 講義⑤				5					
6		scratch 講義⑥				6					
7		scratch 講義⑦				7					
8		scratch 講義⑧				8					
9		scratch 講義⑨				9					
10		mblock 講義①				10					
11		mblock 講義②				11					
12		mblock 講義③				12					
13		mblock 講義④				13					
14		mblock 講義⑤				14					
15		mblock 講義⑥				15					
16		mblock 講義⑦				16					
17		mblock 講義⑧				17					
18		mblock 講義⑨									
備考	使用ソフト：scratch mblock 使用教科書：Scratch 3.0で楽しむ レッツ! プログラミング ジュニア・プログラミング検定 公式テキスト										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	プログラミング概論Ⅱ	総時間	前期		
									後期	2×17	
指導目標	これからプログラミングを学ぼうとする人を対象に、基本を概論中心にすすめていきます。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期					回数	月日	後期		
1							1		講義 1		
2							2		講義 2		
3							3		講義 3		
4							4		講義 4		
5							5		講義 5		
6							6		講義 6		
7							7		講義 7		
8							8		講義 8		
9							9		講義 9		
10							10		講義 1 0		
11							11		講義 1 1		
12							12		講義 1 2		
13							13		講義 1 3		
14							14		講義 1 4		
15							15		講義 1 5		
16							16		講義 1 6		
17							17		講義 1 7		
18											
備考	使用ソフト： 使用教科書：スラスラわかるHTML&CSSのきほん 第2版										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	2	区分	講義	科目	機械工学概論	総時間	前期	2×18	
									後期		
指導目標	機械工学に関する不可欠な知識を全般的に身に付ける。										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期					回数	月日			
1		機械製図法									
2		〃									
3		〃									
4		〃									
5		工業材料									
6		〃									
7		〃									
8		〃									
9		機械要素									
10		〃									
11		〃									
12		〃									
13		機械工作技術									
14		〃									
15		〃									
16		〃									
17		材料力学									
18		〃									
備考	使用教科書：プリント教材（中央工学校OSAKA）										

学 科	ブリッジシステムエンジニア科	学 年	1	区 分	演 習	科 目	ITリテラシー演習 I	総 時 間	前期	2×18	
									後期		
指 導 目 標	<p>コンピュータ用オペレーティングソフトの基本操作とワードプロセッサ、スプレッドシート、プレゼンテーションソフトを使用したビジネス文書の作成方法について学ぶ。 Windows, Word, Excel, PowerPointを活用し、基本的なビジネス文書、各種統計、集計資料、プレゼンテーション資料などが作成できるようにする。</p>										
評 価 方 法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期					回数	月日	後期		
1		Wordの起動と文字入力、ファイルの保存と読み込み、Wordの画面構成					1				
2		文字の書式設定					2				
3		段落の書式設定					3				
4		箇条書きと段落番号					4				
5		段落の罫線と網掛け					5				
6		スタイルの活用					6				
7		アウトラインレベルとスタイルの変更					7				
8		ヘッダーとフッター、表紙と目次の作成					8				
9		文書の印刷、ページの設定					9				
10		表の作成					10				
11		画像の利用					11				
12		図形の描画					12				
13		テキストボックスとワードアート					13				
14		グラフの作成					14				
15		SmartArt(1)					15				
16		タブの活用、検索と置換					16				
17		はがきの宛名面の印刷					17				
18		数式の入力									
備 考	<p>使用教科書：情報演習40 Word2016 ワークブック（ルビ付き） 情報演習41 Excel2016 ワークブック（ルビ付き）</p>										

学 科	ブリッジシステムエンジニア科	学 年	1	区 分	演 習	科 目	ITリテラシー演習Ⅱ	総 時 間	前期		
									後期	2×17	
指 導 目 標	<p>コンピュータ用オペレーティングソフトの基本操作とワードプロセッサ、スプレッドシート、プレゼンテーションソフトを使用したビジネス文書の作成方法について学ぶ。 Windows, Word, Excel, PowerPointを活用し、基本的なビジネス文書、各種統計、集計資料、プレゼンテーション資料などが作成できるようにする。</p>										
評 価 方 法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期					回数	月日	後期		
1							1		Excelの起動と文字入力、ファイルの保存と読み込み、Excelの画面構成		
2							2		セル範囲の選択、文字の書式設定		
3							3		背景色と罫線の指定		
4							4		行、列の操作、文字の配置と小数点以下の表示		
5							5		セルの書式設定		
6							6		表の作成に役立つ機能		
7							7		ワークシートの操作、ワークシートの印刷		
8							8		数式の入力、関数の利用		
9							9		グラフの作成と編集		
10							10		グラフの作成と編集		
11							11		テーマとスタイル		
12							12		データの並べ替え		
13							13		ふりがなの表示と編集		
14							14		フィルター、条件付き書式		
15							15		クイック分析		
16							16		ウインドウ枠の固定とシートの保護		
17							17		画像や図形の挿入		
18											
備 考	<p>使用教科書：情報演習40 Word2016 ワークブック（ルビ付き） 情報演習41 Excel2016 ワークブック（ルビ付き）</p>										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	グループワーク演習	総時間	前期	2×18	
								後期			
指導目標	色々な事例を元に、グループワークを実施し、コミュニケーションの中での注意点を、実践的に学ぶ										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日				
1		コミュニケーションにおけるビジネスグループワーク①									
2		コミュニケーションにおけるビジネスグループワーク②									
3		コミュニケーションにおけるビジネスグループワーク③									
4		仕事の進め方におけるグループワーク①									
5		仕事の進め方におけるグループワーク②									
6		問題解決におけるグループワーク①									
7		問題解決におけるグループワーク②									
8		わかりやすい伝え方におけるグループワーク①									
9		わかりやすい伝え方におけるグループワーク②									
10		接遇におけるグループワーク①									
11		接遇におけるグループワーク②									
12		クレーム対応におけるグループワーク①									
13		クレーム対応におけるグループワーク②									
14		業務改善におけるグループワーク①									
15		業務改善におけるグループワーク②									
16		タイムマネジメントにおけるグループワーク①									
17		タイムマネジメントにおけるグループワーク②									
18		プレゼンテーションにおけるグループワーク									
備考	使用教科書：レジメ使用										

学科	ブリッジシステムエンジニア科			学年	1	区分	演習	科目	プログラミング基礎演習 I	総時間	前期	2×18	
											後期		
指導目標	これからプログラミングを学ぼうとする人を対象に、基本を演習中心に進める。												
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。												
指 導 内 容													
回数	月日	前期					回数	月日	後期				
1		scratch 演習①					1						
2		scratch 演習②					2						
3		scratch 演習③					3						
4		scratch 演習④					4						
5		scratch 演習⑤					5						
6		scratch 演習⑥					6						
7		scratch 演習⑦					7						
8		scratch 演習⑧					8						
9		scratch 演習⑨					9						
10		mblock 演習①					10						
11		mblock 演習②					11						
12		mblock 演習③					12						
13		mblock 演習④					13						
14		mblock 演習⑤					14						
15		mblock 演習⑥					15						
16		mblock 演習⑦					16						
17		mblock 演習⑧					17						
18		mblock 演習⑨											
備考	使用ソフト：scratch mblock 使用教科書：Scratch 3.0で楽しむ レッツ! プログラミング ジュニア・プログラミング検定 公式テキスト												

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	演習	科目	プログラミング基礎演習Ⅱ	総時間	前期		
									後期	2×17	
指導目標	これからプログラミングを学ぼうとする人を対象に、基本を演習中心に進める。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日	後期			
1						1		演習 1			
2						2		演習 2			
3						3		演習 3			
4						4		演習 4			
5						5		演習 5			
6						6		演習 6			
7						7		演習 7			
8						8		演習 8			
9						9		演習 9			
10						10		演習 1 0			
11						11		演習 1 1			
12						12		演習 1 2			
13						13		演習 1 3			
14						14		演習 1 4			
15						15		演習 1 5			
16						16		演習 1 6			
17						17		演習 1 7			
18											
備考	使用ソフト： 使用教科書：スラスラわかるHTML&CSSのきほん 第2版										

学科	ブリッジシステムエンジニア科			学年	2	区分	演習	科目	プログラミング実践演習 I	総時間	前期	4×18	
											後期		
指導目標	ウェブデザインの実践的な技術を身に付ける												
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。												
指 導 内 容													
回数	月日	前期					回数	月日	後期				
1		講義・演習 1					1						
2		講義・演習 2					2						
3		講義・演習 3					3						
4		講義・演習 4					4						
5		講義・演習 5					5						
6		講義・演習 6					6						
7		講義・演習 7					7						
8		講義・演習 8					8						
9		講義・演習 9					9						
10		講義・演習 1 0					10						
11		講義・演習 1 1					11						
12		講義・演習 1 2					12						
13		講義・演習 1 3					13						
14		講義・演習 1 4					14						
15		講義・演習 1 5					15						
16		講義・演習 1 6					16						
17		講義・演習 1 7					17						
18		講義・演習 1 8											
備考	使用ソフト： 使用教科書：確かな力が身につくJavaScript「超」入門 第2版/HTML5&CSS3デザインブック												

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	プログラミング実践演習Ⅱ	総時間	前期		
									後期	4×17	
指導目標	ウェブデザインの実践的な技術を身に付ける										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日	後期			
1						1		講義・演習 1			
2						2		講義・演習 2			
3						3		講義・演習 3			
4						4		講義・演習 4			
5						5		講義・演習 5			
6						6		講義・演習 6			
7						7		講義・演習 7			
8						8		講義・演習 8			
9						9		講義・演習 9			
10						10		講義・演習 1 0			
11						11		講義・演習 1 1			
12						12		講義・演習 1 2			
13						13		講義・演習 1 3			
14						14		講義・演習 1 4			
15						15		講義・演習 1 5			
16						16		講義・演習 1 6			
17						17		講義・演習 1 7			
18											
備考	使用ソフト： 使用教科書：確かな力が身につくJavaScript「超」入門 第2版/HTML5&CSS3デザインブック										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	オブジェクト指向プログラミング基礎演習 I	総時間	前期	4×18	
									後期		
指導目標	JavaScriptにおけるオブジェクト指向について学び、オブジェクトの作成に関する知識と技術を身に付ける										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期					回数	月日	後期		
1		講義・演習 1					1				
2		講義・演習 2					2				
3		講義・演習 3					3				
4		講義・演習 4					4				
5		講義・演習 5					5				
6		講義・演習 6					6				
7		講義・演習 7					7				
8		講義・演習 8					8				
9		講義・演習 9					9				
10		講義・演習 1 0					10				
11		講義・演習 1 1					11				
12		講義・演習 1 2					12				
13		講義・演習 1 3					13				
14		講義・演習 1 4					14				
15		講義・演習 1 5					15				
16		講義・演習 1 6					16				
17		講義・演習 1 7					17				
18		講義・演習 1 8									
備考	使用ソフト： 使用教科書：確かな力が身につくJavaScript「超」入門 第2版										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	オブジェクト指向プログラミング基礎演習Ⅱ	総時間	前期		
									後期	6×17	
指導目標	JavaScriptにおけるオブジェクト指向について学び、オブジェクトの作成に関する知識と技術を身に付ける										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期					回数	月日	後期		
1							1		講義・演習 1		
2							2		講義・演習 2		
3							3		講義・演習 3		
4							4		講義・演習 4		
5							5		講義・演習 5		
6							6		講義・演習 6		
7							7		講義・演習 7		
8							8		講義・演習 8		
9							9		講義・演習 9		
10							10		講義・演習 1 0		
11							11		講義・演習 1 1		
12							12		講義・演習 1 2		
13							13		講義・演習 1 3		
14							14		講義・演習 1 4		
15							15		講義・演習 1 5		
16							16		講義・演習 1 6		
17							17		講義・演習 1 7		
18											
備考	使用ソフト： 使用教科書：確かな力が身につくJavaScript「超」入門 第2版										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	演習	科目	建築製図演習 I	総時間	前期	4×18	
									後期		
指導目標	木造およびRC造における一般図や詳細図のトレースを通じて、製図技法や表現力を身に付けるとともに、建築知識を確かなものとする。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前 期				回数	月日				
1		製図用具・用紙サイズ・線の種類・製図記号									
2		木造平面図									
3		〃									
4		〃									
5		〃									
6		木造立面図									
7		〃									
8		〃									
9		木造断面図									
10		〃									
11		〃									
12		RC平面図									
13		〃									
14		〃									
15		RC立面図									
16		〃									
17		RC断面図									
18		〃									
備考	使用教科書：プリント教材（中央工学校OSAKA） ※この科目は建築業界で実務を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	演習	科目	建築製図演習Ⅱ	総時間	前期	2×17	
									後期		
指導目標	木造およびRC造における一般図や詳細図のトレースを通じて、製図技法や表現力を身に付けるとともに、建築知識を確かなものとする。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前 期				回数	月日				
1								木造軸組模型作成			
2								〃			
3								〃			
4								〃			
5								〃			
6								〃			
7								〃			
8								〃			
9								〃			
10								〃			
11								〃			
12								〃			
13								〃			
14								〃			
15								〃			
16								〃			
17								〃			
18								〃			
備考	使用教科書：プリント教材（中央工学校OSAKA） ※この科目は建築業界で実務を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	建築製図演習Ⅲ	総時間	前期	2×18	
									後期		
指導目標	木造およびRC造における一般図や詳細図のトレースを通じて、製図技法や表現力を身に付けるとともに、建築知識を確かなものとする。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前 期				回数	月日				
1		演習 1									
2		演習 2									
3		演習 3									
4		演習 4									
5		演習 5									
6		演習 6									
7		演習 7									
8		演習 8									
9		演習 9									
10		演習 1 0									
11		演習 1 1									
12		演習 1 2									
13		演習 1 3									
14		演習 1 4									
15		演習 1 5									
16		演習 1 6									
17		演習 1 7									
18		演習 1 8									
備考	使用教科書：プリント教材（中央工学校OSAKA）										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	建築製図演習Ⅳ	総時間	前期		
									後期	2×17	
指導目標	木造およびRC造における一般図や詳細図のトレースを通じて、製図技法や表現力を身に付けるとともに、建築知識を確かなものとする。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前 期				回数	月日				
1								演習 1			
2								演習 2			
3								演習 3			
4								演習 4			
5								演習 5			
6								演習 6			
7								演習 7			
8								演習 8			
9								演習 9			
10								演習 1 0			
11								演習 1 1			
12								演習 1 2			
13								演習 1 3			
14								演習 1 4			
15								演習 1 5			
16								演習 1 6			
17								演習 1 7			
18											
備考	使用教科書：プリント教材（中央工学校OSAKA）										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	演習	科目	建築CAD演習 I	総時間	前期	2×18	
									後期		
指導目標	CADシステムによる製図技術およびプレゼンテーション技術の習得と建築専門知識を深めることを目的とする。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期					回数	月日	後期		
1		AutoCADの設定					1				
2		〃					2				
3		作図コマンド					3				
4		〃					4				
5		〃					5				
6		〃					6				
7		〃					7				
8		〃					8				
9		編集コマンド					9				
10		〃					10				
11		〃					11				
12		〃					12				
13		〃					13				
14		〃					14				
15		基礎作図演習(1)					15				
16		〃					16				
17		〃					17				
18		〃									
備考	使用ソフト：AutoCad AutoCad Revit 使用教科書：AutoCad⇒プリント教材（中央工学校OSAKA） Revit⇒プリント教材（Autodesk Revit トレーニングテキスト） ※この科目は建築業界で実務を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	1	区分	演習	科目	建築CAD演習Ⅱ	総時間	前期		
									後期	6×17	
指導目標	CADシステムによる製図技術およびプレゼンテーション技術の習得と建築専門知識を深めることを目的とする。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期					回数	月日	後期		
1							1		基礎作図演習(2)		
2							2		〃		
3							3		〃		
4							4		〃		
5							5		基礎作図演習(3)		
6							6		〃		
7							7		〃		
8							8		〃		
9							9		印刷設定		
10							10		基本操作		
11							11		建築図面作図演習(1)		
12							12		〃		
13							13		〃		
14							14		〃		
15							15		〃		
16							16		〃		
17							17		〃		
18											
備考	使用ソフト：AutoCad AutoCad Revit 使用教科書：AutoCad⇒プリント教材（中央工学校OSAKA） Revit⇒プリント教材（Autodesk Revit トレーニングテキスト） ※この科目は建築業界で実務を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	建築CAD演習Ⅲ	総時間	前期	6×18	
									後期		
指導目標	CADシステムによる製図技術およびプレゼンテーション技術の習得と建築専門知識を深めることを目的とする。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期				回数	月日	後期			
1		建築図面作図演習(2)				1					
2		〃				2					
3		〃				3					
4		〃				4					
5		建築図面作図演習(3)				5					
6		〃				6					
7		〃				7					
8		〃				8					
9		建築図面作図演習(4)				9					
10		〃				10					
11		〃				11					
12		〃				12					
13		建築図面作図演習(5)				13					
14		〃				14					
15		〃				15					
16		〃				16					
17		〃				17					
18		〃									
備考	使用ソフト：AutoCad AutoCad Revit 使用教科書：AutoCad⇒プリント教材（中央工学校OSAKA） Revit⇒プリント教材（Autodesk Revit トレーニングテキスト）										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	建築CAD演習IV	総時間	前期		
									後期	6×17	
指導目標	CADシステムによる製図技術およびプレゼンテーション技術の習得と建築専門知識を深めることを目的とする。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前期					回数	月日	後期		
1							1		3次元CADの設定		
2							2		"		
3							3		基本操作		
4							4		"		
5							5		"		
6							6		"		
7							7		"		
8							8		"		
9							9		モデリング演習		
10							10		"		
11							11		"		
12							12		"		
13							13		"		
14							14		"		
15							15		"		
16							16		"		
17							17		"		
18											
備考	使用ソフト：AutoCad AutoCad Revit 使用教科書：AutoCad⇒プリント教材（中央工学校OSAKA） Revit⇒プリント教材（Autodesk Revit トレーニングテキスト）										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	機械CAD設計演習 I	総時間	前期	2×18	
									後期		
指導目標	2次元のスケッチから3次元形状の作成方法、さらに図面化、アッセンブル、および解析方法の基本を学ぶ。 後期は、仕様に基づき、ヘリカルギア多段減速機的设计およびそのモデリングを行う。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前 期				回数	月日	後 期			
1		CADシステムの設定				1					
2		基本的機械部品作成(1)				2					
3		〃				3					
4		〃				4					
5		〃				5					
6		基本的機械部品作成(2)				6					
7		〃				7					
8		〃				8					
9		〃				9					
10		基本的機械部品作成(3)				10					
11		〃				11					
12		〃				12					
13		〃				13					
14		基本的機械部品作成(4)				14					
15		〃				15					
16		〃				16					
17		〃				17					
18		〃									
備考	使用ソフト：AutoCAD 使用教科書：AutoCAD LTでちゃんと機械製図ができるようになる本										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	機械CAD設計演習Ⅱ	総時間	前期		
									後期	8×17	
指導目標	2次元のスケッチから3次元形状の作成方法、さらに図面化、アッセンブル、および解析方法の基本を学ぶ。 後期は、仕様に基づき、ヘリカルギア多段減速機的设计およびそのモデリングを行う。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	月日	前 期				回数	月日	後 期			
1						1		基本設計			
2						2		〃			
3						3		詳細設計			
4						4		〃			
5						5		歯車減速機部品モデリング(1)			
6						6		〃			
7						7		歯車減速機部品モデリング(2)			
8						8		〃			
9						9		歯車減速機部品モデリング(3)			
10						10		〃			
11						11		部品図作成			
12						12		〃			
13						13		アッセンブリー			
14						14		〃			
15						15		解析			
16						16		〃			
17						17		まとめ			
18											
備考	使用ソフト：AutoCAD 使用教科書：AutoCAD LTでちゃんと機械製図ができるようになる本										

学科	ブリッジシステムエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	卒業制作	総時間	前期	
									後期	2×17
指導目標	来日後から培ってきた日本語能力・本学科でブラッシュアップしたプレゼンテーション能力を実際のプレゼンテーションの場で発揮し、聞き手と活発な議論ができることを目指す。卒業成果・制作発表会の場で発表する。									
評価方法	授業への参加度・出席率・課題提出・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	月日									後期
						1				制作
						2				〃
						3				〃
						4				〃
						5				〃
						6				〃
						7				〃
						8				〃
						9				〃
						10				〃
						11				〃
						12				〃
						13				〃
						14				〃
						15				〃
						16				〃
						17				発表
備考	使用教科書：レジュメ PC、プロジェクター、モニターを使用する。									